

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問1 あなたの性別をお書きください。 1. 女性 2. 男性 3. （ ） （「答えたくない」、「どちらでもない」など自由にお書きください）	問1 あなたの性別をお書きください 1. 女性 2. 男性 3. （ ） （「答えたくない」、「どちらでもない」など自由にお書きください）	
問2 あなたの年齢をお書きください	問2 あなたの年齢をお書きください	
問3 あなたの現在の配偶関係（1つ選んでください） 1. 結婚している（事実婚を含む） 2. 過去に結婚していたが、離婚・死別した 3. 結婚していない ※事実婚とは、婚姻届を出していないが事実上の婚姻状態にあることをいいます。	問3 あなたの現在の配偶関係（1つ選んでください） 1. 結婚している（事実婚を含む） 2. 過去に結婚していたが、離婚・死別した 3. 結婚していない ※事実婚とは、婚姻届を出していないが事実上の婚姻状態にあることをいいます。	
問4 あなたの家族構成（1つ選んでください） 1. 一人世帯 2. 一世代家族（夫婦のみ） 3. 二世世代家族（夫婦と子、親と子など） 4. 三世世代家族（親と子と孫など） 5. その他	問4 あなたの家族構成（1つ選んでください） 1. 一人世帯 2. 一世代家族（夫婦のみ） 3. 二世世代家族（夫婦と子、親と子など） 4. 三世世代家族（親と子と孫など） 5. その他	
問5 あなたの仕事の状況は、次のどれに当てはまりますか。（複数の場合は主なものを1つ選んでください） 1. 正規の職員・従業員（雇われている人） 2. 非正規（パート・アルバイト、嘱託など）の職員・従業員（雇われている人） 3. 会社などの役員 4. 自営業主・自由業 5. 家族従業者 6. 家庭内の賃仕事（内職） 7. 家事専業（専業主婦・夫など、専ら家事にのみ携わっている人） 8. 学生 9. 無職（年金生活者） 10. 無職（失業中など） 11. その他（ ）	問5 あなたの仕事の状況は、次のどれに当てはまりますか。（複数の場合は主なものを1つ選んでください） 1. 正規の職員・従業員（雇われている人） 2. 非正規（パート・アルバイト、嘱託など）の職員・従業員（雇われている人） 3. 会社などの役員 4. 自営業主・自由業 5. 家族従業者 6. 家庭内の賃仕事（内職） 7. 家事専業（専業主婦・夫など、専ら家事にのみ携わっている人） 8. 学生 9. 無職（年金生活者） 10. 無職（失業中など） 11. その他（ ）	
問6 どのような場合に負担感や生きづらさを感じますか。（いくつでも選んでください） 1. 仕事での期待や責任口 2. 人々とのコミュニケーションや対人関係でのトラブルや不和 3. 健康上の問題や慢性的な痛み、不調口 4. お金に関する問題や経済的な不安 5. 性別や文化的な役割、社会的な期待に対するプレッシャー口 6. 家族の育児や介護 7. 仕事と家事・育児・介護の両立 8. その他（ ） 9. 特に生きづらさを感じていない		生きづらさについての質問を追加しました。
問7 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように考えますか。（1つ選んでください） 1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対 4. 反対 5. わからない	問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように考えますか。（1つ選んでください） 1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対 4. 反対 5. わからない	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問7-1（問7で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方に）あなたが、そう思うのはなぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから 2. 自分の両親も役割分担をしていたから 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 6. その他 7. 特にない 8. わからない	問6-1（問6で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方に）あなたが、そう思うのはなぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから 2. 自分の両親も役割分担をしていたから 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 6. その他 7. 特にない 8. わからない	
問7-2（問7で「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方に）あなたが、そう思うのはなぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 男女平等に反すると思うから 2. 自分の両親も外で働いていたから 3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから 4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから 6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから 7. その他 8. 特にない 9. わからない	問6-2（問6で「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方に）あなたが、そう思うのはなぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 男女平等に反すると思うから 2. 自分の両親も外で働いていたから 3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから 4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから 6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから 7. その他 8. 特にない 9. わからない	
問8 あなたは次の①～⑧で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ1つ選んでください） ①家庭生活 ②職場 ③地域 ④学校教育の場 ⑤政治の場 ⑥法律や制度の上 ⑦社会通念・慣習・しきたりなど ⑧社会全体では × 1. 女性が優遇されている 2. どちらかと言えば女性が優遇されている 3. 平等になっている 4. どちらかと言えば男性が優遇されている 5. 男性が優遇されている	問7 あなたは次の①～⑧で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ1つ選んでください） ①家庭生活 ②職場 ③地域 ④学校教育の場 ⑤政治の場 ⑥法律や制度の上 ⑦社会通念・慣習・しきたりなど ⑧社会全体では × 1. 女性が優遇されている 2. どちらかと言えば女性が優遇されている 3. 平等になっている 4. どちらかと言えば男性が優遇されている 5. 男性が優遇されている	
問9 あなたは「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。（1つ選んでください） 1. ある 2. ない 3. わからない	問8 あなたは「女性であること」または「男性であること」によって、負担感や生きづらさを感じたことがありますか。（1つ選んでください） 1. ある 2. ない 3. わからない	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問9-1 それは、どのようなときに感じましたか。（いくつでも選んでください） 1. 家事、育児、介護は女性がするのが当たり前という考え 2. 女性は男性に従うのがよいという考え 3. 女性だからと、優しい、かわいい、よく気がつく、素直なことなどを求められる風潮 4. 女性だからと、仕事を任せてもらえない、決定権を与えてもらえない職場 5. 女性は仕事をしていても家事、育児、介護の責任を担わされる風潮 6. 力仕事や危険な仕事は男性がするのが当たり前という考え 7. 男性は家族を養って一人前という考え 8. 男性は仕事ができで当たり前という考え 9. 男性は強さやリーダーシップを発揮することを求められる風潮 10. 男性が弱音を吐いたり、悩みを打ち明けるのは恥ずかしいという考え 11. その他（ ）	問8-1 それは、どのようなときに感じましたか。（いくつでも選んでください） 1. 力仕事や危険な仕事は男性がするのが当たり前という考え 2. 男性は家族を養って一人前という考え 3. 男性は仕事ができで当たり前という考え 4. 男性は強さやリーダーシップを発揮することを求められる風潮 5. 男性が弱音を吐いたり、悩みを打ち明けるのは恥ずかしいという考え 6. 家事、育児、介護は女性がするのが当たり前という考え 7. 女性は男性に従うのがよいという考え 8. 女性だからと、優しい、かわいい、よく気がつく、素直なことなどを求められる風潮 9. 女性だからと、仕事を任せてもらえない、決定権を与えてもらえない職場 10. 女性は仕事をしていても家事、育児、介護の責任を担わされる風潮 11. その他（ ）	選択肢の順番を、女性向けのものを先に入れ替えました
問10 あなたは宇治市が行っている次の相談窓口についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください） ①女性のための相談（面接相談・電話相談） ②男性のための相談（電話相談） × 1. 知っている 2. 知らない ※①②とも宇治市男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ内）で実施しています。	問9 あなたは宇治市が行っている次の相談窓口についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください） ①女性のための相談（面接相談・電話相談） ②男性のための相談（電話相談） × 1. 知っている 2. 知らない ※①②とも宇治市男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ内）で実施しています。	
問11 あなたは次の①～⑩の「ことば」や「事柄」についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください） ①男女共同参画社会／男女が社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野の活動に参画し、利益を享受するとともに責任を担う社会。 ②男女共同参画社会基本法 ③女子差別撤廃条約／1979年に国連総会において日本を含む130カ国の賛成によって採択された条約。日本は国内法整備などを行い1985年に批准した。 ④男女雇用機会均等法 ⑤女性活躍推進法／働く場面で活躍したいという希望を持つ女性が活躍できるよう、一定規模以上の企業等に取り組む義務づけた法律。 ⑥「 <u>困難な問題を抱える女性への支援に関する法律</u> 」（女性支援新法）／ <u>困難な問題を抱える女性支援の根拠法を「売春をなすおそれのある女子の保護更生」を目的とする売春防止法から脱却させ、先駆的な女性支援を実践する「民間団体との協働」といった視点も取り入れた新たな支援の枠組みを構築した法律。</u> ⑦候補者男女均等法／国会と地方議会の選挙で、各政党に候補者数をできる限り男女均等にしよう求める法律。 ⑧ポジティブ・アクション（積極的改善措置）／社会的・構造的な差別によって不利益を被っている集団に対して、一定の範囲で特別の機会を提供して実質的な機会均等の実現を目的として講じる暫定的な措置のこと。 ⑨仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）／働く人が「仕事」も「生活」（育児や介護、趣味、地域活動など）も充実させて豊かな人生を送ることをめざす働き方、生き方のこと。 ⑩ジェンダー／生物学的な性別に対して社会的・文化的に形成された性別のこと。 ⑪LGBTQ／レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングやクィアの5つの頭文字からとった言葉で、性的マイノリティの人を表す総称の一つとしても使われている。 ⑫マタニティ・ハラスメント／妊娠・出産を理由として被る不利益や、精神的・肉体的な嫌がらせのこと。 ⑬ドメスティック・バイオレンス（DV） ⑭第5次UJIあさぎりプラン／（宇治市男女共同参画計画） ⑮宇治市男女生き生きまちづくり条例 × 内容まで知っている 言葉を見たり聞いたりしたことはある 全く知らない	問10 あなたは次の①～⑩の「ことば」や「事柄」についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください） ①男女共同参画社会／男女が社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野の活動に参画し、利益を享受するとともに責任を担う社会。 ②男女共同参画社会基本法 ③女子差別撤廃条約／1979年に国連総会において日本を含む130カ国の賛成によって採択された条約。日本は国内法整備などを行い1985年に批准した。 ④男女雇用機会均等法 ⑤女性活躍推進法／働く場面で活躍したいという希望を持つ女性が活躍できるよう、一定規模以上の企業等に取り組む義務づけた法律。 ⑥候補者男女均等法／国会と地方議会の選挙で、各政党に候補者数をできる限り男女均等にしよう求める法律。 ⑦ポジティブ・アクション（積極的改善措置）／社会的・構造的な差別によって不利益を被っている集団に対して、一定の範囲で特別の機会を提供して実質的な機会均等の実現を目的として講じる暫定的な措置のこと。 ⑧仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）／働く人が「仕事」も「生活」（育児や介護、趣味、地域活動など）も充実させて豊かな人生を送ることをめざす働き方、生き方のこと。 ⑨ジェンダー／生物学的な性別に対して社会的・文化的に形成された性別のこと。 ⑩マタニティ・ハラスメント／妊娠・出産を理由として被る不利益や、精神的・肉体的な嫌がらせのこと。 ⑪ドメスティック・バイオレンス（DV） ⑫第4次UJIあさぎりプラン／（宇治市男女共同参画計画） ⑬宇治市男女生き生きまちづくり条例 × 内容まで知っている 言葉を見たり聞いたりしたことはある 全く知らない	新しい法律を取り上げました。 「LGBTQ」を取り上げました。

今回調査（市民調査）		前回調査	修正、追加の意図
問12 この5年間で、あなたの周囲の状況から判断して次の①～⑥がどの程度進んだと思いますか。（それぞれ1つ選んでください。） ①男女平等の考え方 ②政策・方針決定の過程への女性の進出 ③会社などでの女性管理職の数 ④ワーク・ライフ・バランスの実現 ⑤セクシュアル・ハラスメント※やD Vなど女性に対する暴力への市の対応 ⑥市の女性の健康保持に関する支援 × 1. 前進した 2. どちらかといえば前進した 3. 変わらない 4. どちらかといえば後退した 5. 後退した 6. わからない	問11 この5年間で、あなたの周囲の状況から判断して次の①～⑥がどの程度進んだと思いますか。（それぞれ1つ選んでください。） ①男女平等の考え方 ②政策・方針決定の過程への女性の進出 ③会社などでの女性管理職の数 ④ワーク・ライフ・バランスの実現 ⑤セクシュアル・ハラスメント※やD Vなど女性に対する暴力への市の対応 ⑥市の女性の健康保持に関する支援 × 1. 前進した 2. どちらかといえば前進した 3. 変わらない 4. どちらかといえば後退した 5. 後退した 6. わからない		
問13 あなたは、現在の家庭での役割分担に対して満足していますか。（1つ選んでください） 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 不満 5. どちらでもない 6. 一人世帯のため役割分担はない			ワークライフバランスに関して、家庭での役割分担を追加しました。
問14 （問13で「3. どちらかといえば不満」、「4. 不満」とお答えの方に） 現在の家庭での役割分担に対して不満に感じる理由は何ですか。（いくつでも選んでください） 1. 仕事が忙しい 2. 相手とのコミュニケーション不足 3. あまり関心がない 4. 知識がない 5. 不得手 6. 世間体 7. その他（ ）			ワークライフバランスに関して、家庭での役割分担を追加しました。
問15 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと 3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること 4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること 5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること 6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること 7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのI C Tを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること 8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと 9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間づくりをすすめること 10. その他 11. 特に必要なことはない	問12 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと 3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること 4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること 5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること 6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること 7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのI C Tを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること 8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと 9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間づくりをすすめること 10. その他 11. 特に必要なことはない		

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問16 あなたは、<u>次世代を担う子ども</u>たちにどのように育ってほしいですか。（女の子、男の子それぞれいくつでも） ①女の子に ②男の子に × 1. <u>経済的な自立ができる</u> 2. <u>自分の身の回りのことができる</u> 3. <u>社会に役立つ</u> 4. <u>責任感をもてる</u> 5. <u>やさしさと思いやりをもてる</u> 6. <u>素直に、人の言うことをよく聞く</u> 7. <u>自分の考えを人前ではっきり言える</u> 8. <u>まわりに気配りができる</u>	問13 あなたは、子どもにどのように育ってほしいですか（ほしかったですか）。子どものいない方もいるとしたらと仮定してお答えください。（女の子、男の子それぞれいくつでも） ①女の子に ②男の子に × 1. 経済的な自立ができるように 2. 自分の身の回りのことができるように 3. 社会に役立つように 4. 責任感をもてるように 5. やさしさと思いやりをもてるように 6. 素直に、人の言うことをよく聞くように 7. 自分の考えを人前ではっきり言えるように 8. まわりに気配りができるように	子どもがいる方、いない方で質問の捉え方が異なるような記載であったため、質問文及び選択肢を修正しました。
問17 男女共同参画を進めるために、子どもの教育においてどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 男女平等の意識を育てる教育をする 2. 進路や職業選択において多様な選択肢にふれる機会を与え、本人の希望を優先し応援する姿勢をもつ 3. 幼児のときから自分の心とからだを大切にすることの意識を育み、いじめや暴力から自分を守る力を育てる 4. 男女がともに家庭の責任を果たすことの大切さを教える 5. 年齢に応じた性教育を行う 6. 「男の子だから」「女の子だから」といった役割やふるまいを性別で決めつけるような言い方をしない 7. 男女双方に、家事能力が身につくような経験をさせる 8. 男女双方に、経済的自立の意識をもつよう働きかける 9. 周囲の大人が、男女が平等で対等な人間関係をつくる 10. その他 11. 特に必要ない	問14 男女共同参画を進めるために、子どもの教育においてどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 男女平等の意識を育てる教育をする 2. 進路や職業選択において多様な選択肢にふれる機会を与え、本人の希望を優先し応援する姿勢をもつ 3. 幼児のときから自分の心とからだを大切にすることの意識を育み、いじめや暴力から自分を守る力を育てる 4. 男女がともに家庭の責任を果たすことの大切さを教える 5. 年齢に応じた性教育を行う 6. 「男の子だから」「女の子だから」といった役割やふるまいを性別で決めつけるような言い方をしない 7. 男女双方に、家事能力が身につくような経験をさせる 8. 男女双方に、経済的自立の意識をもつよう働きかける 9. 周囲の大人が、男女が平等で対等な人間関係をつくる 10. その他 11. 特に必要ない	
問18 女性が仕事をするということについてあなたはどのようにお考えですか。（1つ選んでください） 1. 結婚・出産にかかわらず仕事を続ける方がよい 2. 出産後は一時家庭に入り、育児が終われば再び仕事に就く方がよい 3. 出産前までは仕事に就く方がよい 4. 結婚するまでは、仕事に就く方がよい 5. 女性は仕事に就かない方がよい 6. その他	問15 女性が仕事をするということについてあなたはどのようにお考えですか。（1つ選んでください） 1. 結婚・出産にかかわらず仕事を続ける方がよい 2. 出産後は一時家庭に入り、育児が終われば再び仕事に就く方がよい 3. 出産前までは仕事に就く方がよい 4. 結婚するまでは、仕事に就く方がよい 5. 女性は仕事に就かない方がよい 6. その他	
問19～問20は、現在就労している方のみお答えください 問19 働く目的や理由について、あてはまるものをお答えください。（いくつでも選んでください） 1. 生活費を得るため 2. 将来にそなえて貯蓄するため 3. 自由でゆとりある生活をするため 4. 自分の能力や技術を活かすため 5. 働くことで視野を広げるため 6. 社会に貢献するため 7. 生きがい・やりがいを得るため 8. 家業を継承するため 9. その他	問16～問17は、現在就労している方のみお答えください 問16 働く目的や理由について、あてはまるものをお答えください。（いくつでも選んでください） 1. 生活費を得るため 2. 将来にそなえて貯蓄するため 3. 自由でゆとりある生活をするため 4. 自分の能力や技術を活かすため 5. 働くことで視野を広げるため 6. 社会に貢献するため 7. 生きがい・やりがいを得るため 8. 家業を継承するため 9. その他	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問20 あなたは、今の職場・仕事に不満や悩みがありますか。（いくつでも選んでください） 1．収入が少ない 2．労働時間が長い、労働時間が不規則 3．休暇が取りにくい 4．身体的負担が大きい 5．能力が正當に評価されていない 6．ハラスメント※がある 7．仕事と家庭や個人の生活の両立がむずかしい 8．職場の人間関係がむずかしい 9．昇進や昇給などの待遇で差別されている 10．女性が働き続けることに理解がない 11．会社や仕事の先行きが不安 12．その他 13．特にない	問17 あなたは、今の職場・仕事に不満や悩みがありますか。（いくつでも選んでください） 1．収入が少ない 2．労働時間が長い、労働時間が不規則 3．休暇が取りにくい 4．身体的負担が大きい 5．能力が正當に評価されていない 6．ハラスメント※がある 7．仕事と家庭や個人の生活の両立がむずかしい 8．職場の人間関係がむずかしい 9．昇進や昇給などの待遇で差別されている 10．女性が働き続けることに理解がない 11．会社や仕事の先行きが不安 12．その他 13．特にない	
問21 管理職（課長相当職以上）への昇進希望がありますか。（1つ選んでください） 1．頑張ってなりたい 2．機会があればなりたい 3．あまりなりたくない 4．絶対なりたくない 5．今後働く予定がない 6．わからない		働き方について、これまでからの考え方が変化しているか確認するため追加しました。
問22 管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。（いくつでも選んでください） 1．やりがいのある仕事ができる 2．賃金があがる 3．能力が認められた結果である 4．家族から評価される 5．自分自身で決められる事柄が多くなる 6．やるべき仕事が増える 7．残業、労働時間が増える 8．責任が重くなる 9．やっかみが出て足を引っ張られる 10．仕事と家庭の両立が困難になる 11．出費が増える 12．その他（ ） 13．わからない		働き方について、これまでからの考え方が変化しているか確認するため追加しました。
問23 女性の管理職を増やすための効果的な取組は何だと考えますか。（いくつでも選んでください） 1．家事・出産・育児・介護など家族のサポート 2．社内の意識改革 3．多様なキャリアを選べる仕組みづくり 4．女性採用の拡大 5．キャリアアップのための教育強化 6．リモートワークの推進 7．子育て制度の充実 8．その他（ ）		働き方について、これまでからの考え方が変化しているか確認するため追加しました。

今回調査（市民調査）		前回調査	修正、追加の意図
問24～問25は、問 5 で、「8．家事専業」または「11. 無職（失業中）」と答えられた方におたずねします。 問18 あなたは、今後、働きたいと思いますか。（1 つ選んでください） 1．すぐ働きたい 2．条件が整えば働きたい 3．働きたくない 4．その他 5．わからない		問18～問19は、問 5 で、「8．家事専業」または「11. 無職（失業中）」と答えられた方におたずねします。 問18 あなたは、今後、働きたいと思いますか。（1 つ選んでください） 1．すぐ働きたい 2．条件が整えば働きたい 3．働きたくない 4．その他 5．わからない	
問25 問24で「1．すぐ働きたい」または「2．条件が整えば働きたい」と答えられた方におたずねします。今後は働きたいけれども、現在働いていない理由は何ですか。（いくつでも選んでください） 1．自宅に近い勤め先が見つからない 2．希望の給料に合う勤め先が見つからない 3．希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない 4．希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない 5．子どもが小さいうちは自分で世話をしたい 6．子どもが保育所などに入所できなかった 7．家族の協力が得られない 8．親や家族の介護・看護がある 9．自分の健康に不安がある 10．その他		問19 問21で「1．すぐ働きたい」または「2．条件が整えば働きたい」と答えられた方におたずねします。今後は働きたいけれども、現在働いていない理由は何ですか。（いくつでも選んでください） 1．自宅に近い勤め先が見つからない 2．希望の給料に合う勤め先が見つからない 3．希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない 4．希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない 5．子どもが小さいうちは自分で世話をしたい 6．子どもが保育所などに入所できなかった 7．家族の協力が得られない 8．親や家族の介護・看護がある 9．自分の健康に不安がある 10．その他	
問26 あなたは、育児を行うために育児休業の制度を利用したことがありますか。（1 つ選んでください） 1．制度を利用したことがある。□ 2．制度を利用したかったが、利用できなかった（理由： 3．育児休業取得が必要となったことがない 4．制度の対象になったことがない（制度ができる前に出産した、など） 5．制度を知らない・あったかわからない 6．勤務先に育児休業の制度がない		問20 あなたは、育児を行うために育児休業の制度を利用したことがありますか。（1 つ選んでください） 1．制度を利用したことがある 2．制度を利用したかったが、利用できなかった 3．育児休業取得が必要となったことがない 4．制度の対象になったことがない（制度ができる前に出産した、など）	一部選択を追加しました。
問27 あなたは、介護を行うために介護休業の制度を利用したことがありますか。（1 つ選んでください） 1．制度を利用したことがある 2．制度を利用したかったが、利用できなかった 3．介護休業取得が必要となったことがない 4．制度の対象になったことがない（制度ができる前に介護を行った、など） 5．制度を知らない・あったかわからない 6．勤務先に介護休業の制度がない		問21 あなたは、介護を行うために介護休業の制度を利用したことがありますか。（1 つ選んでください） 1．制度を利用したことがある 2．制度を利用したかったが、利用できなかった 3．介護休業取得が必要となったことがない 4．制度の対象になったことがない（制度ができる前に介護を行った、など）	一部選択を追加しました。
問28 誰もが働きやすくなるために、重要なことは何だと思いますか。（3 つまで選んでください） 1．男女ともに労働時間の短縮を図ること 2．男性の家事・育児・介護への参加を進めること 3．男女の雇用機会を均等にすること 4．職場での男女の昇進、待遇の格差をなくすこと 5．選択的夫婦別姓制度（注）を導入すること 6．パートタイムなどの労働条件を向上させること 7．再就職を希望する人のための講座、セミナーを充実させること 8．出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実させること 9．保育園、児童クラブなどの育児環境を充実させること 10．育児・介護休業制度などの普及を図ること 11．ホームヘルパーや福祉施設を充実させること 12．その他（具体的に：)			働くことに対する意識や問題で、どのような点が重要視されているか確認するため追加しました。

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問29 あなたの、自治会・町内会、ＰＴＡやボランティアなどの地域活動への参加状況は次のうちどれですか。（１つ選んでください） １．現在、参加している ２．過去に参加したことがある ３．参加したことがない	問22 あなたの、自治会・町内会、ＰＴＡやボランティアなどの地域活動への参加状況は次のうちどれですか。（１つ選んでください） １．現在、参加している ２．過去に参加したことがある ３．参加したことがない	
問30 あなたの地域活動への参加意向は次のうちどれですか。（１つ選んでください） １．今後も参加したい（現在参加している） ２．今後は参加したい ３．地域活動への関心はない ４．その他	問23 あなたの地域活動への参加意向は次のうちどれですか。（１つ選んでください） １．今後も参加したい（現在参加している） ２．今後は参加したい ３．地域活動への関心はない ４．その他	
問31 あなたが、地域活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。（いくつでも選んでください） １．仕事が忙しいこと ２．家事・育児・介護が忙しいこと ３．子どもを預けるところがないこと ４．健康・体力に自信がないこと ５．経済的に余裕がないこと ６．家族の理解や協力がいないこと ７．活動場所がないこと ８．活動情報がないこと ９．その他	問24 あなたが、地域活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。（いくつでも選んでください） １．仕事が忙しいこと ２．家事・育児・介護が忙しいこと ３．子どもを預けるところがないこと ４．健康・体力に自信がないこと ５．経済的に余裕がないこと ６．家族の理解や協力がいないこと ７．活動場所がないこと ８．活動情報がないこと ９．その他	
問32 あなたが住んでいる地域（自治会など）は男女で違いがあると思いますか。あると思うものに○をつけてください。（いくつでも選んでください） １．会議や行事などで女性が飲食の準備や後片付けをすることが多い ２．会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見が取り上げてもらいにくい状況がある ３．役員選挙に女性がでにくい、また選ばれにくい状況がある ４．地域の行事に女性が参加できない状況がある ５．地域の活動に女性が少ないため、逆に女性が優遇される ６．その他 ７．特にない	問25 あなたが住んでいる地域（自治会など）は男女で違いがあると思いますか。あると思うものに○をつけてください。（いくつでも選んでください） １．会議や行事などで女性が飲食の準備や後片付けをすることが多い ２．会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見が取り上げてもらいにくい状況がある ３．役員選挙に女性がでにくい、また選ばれにくい状況がある ４．地域の行事に女性が参加できない状況がある ５．地域の活動に女性が少ないため、逆に女性が優遇される ６．その他 ７．特にない	
問33 あなたは、自治会長やＰＴＡ会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） １．女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと ２．女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと ３．社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること ４．女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと ５．女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること ６．その他 ７．特にない ８．わからない	問26 あなたは、自治会長やＰＴＡ会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） １．女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと ２．女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと ３．社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること ４．女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと ５．女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること ６．その他 ７．特にない ８．わからない	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問34 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）から一度でも次のような行為を受けた経験がありますか。（いくつでも選んでください） 1. なぐる、ける、物を投げるなどのからだへの暴力 2. たびたび無視するなどのこころへの暴力 3. ののしる、おどす、ばかにするなどのこころへの暴力 4. 性交渉を強要する、避妊に協力しないなどの性的な暴力 5. 生活費を出さない、生活費を持っていくなどの経済的な暴力 6. 外出や人との付き合いをきびしく制限するなどのこころへの暴力 7. 携帯電話を細かく監視し、行動を制限するなどのこころへの暴力 8. 相手から上記のような行為を受けたことがない 9. これまでに配偶者や恋人等がいない	問27 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）から一度でも次のような行為を受けた経験がありますか。（いくつでも選んでください） 1. なぐる、ける、物を投げるなどの身体的暴力 2. たびたび無視するなどの精神的暴力 3. ののしる、おどす、ばかにするなどの言葉の暴力 4. 性交渉を強要する、避妊に協力しないなどの性的暴力 5. 生活費を出さない、生活費を持っていくなどの経済的暴力 6. 外出や人との付き合いをきびしく制限するなどの精神的暴力 7. 携帯電話を細かく監視し、行動を制限するなどの精神的暴力 8. 相手から上記のような行為を受けたことがない 9. これまでに配偶者や恋人等がいない	国・府の表現にあわせて文言を修正しました。
問34で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きます 問35 あなたは、そのことを誰かに話したり、相談したりしましたか。（いくつでも選んでください） 1. 家族・親族に相談した 2. 同僚や友人に相談した 3. 職場の上司に相談した 4. 学校・職場の相談窓口で相談した 5. 公的機関に相談した 6. その他 7. 誰にも話さず、相談していない	問27で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きます 問28 あなたは、そのことを誰かに話したり、相談したりしましたか。（いくつでも選んでください） 1. 家族・親族に相談した 2. 同僚や友人に相談した 3. 職場の上司に相談した 4. 学校・職場の相談窓口で相談した 5. 公的機関に相談した 6. その他 7. 誰にも話さず、相談していない	
問35で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きます 問36 相談しなかったのは、なぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 誰に相談してよいのかわからなかったから 2. 人に知られたくないから 3. 相談しても無駄だと思ったから 4. 相談しても自分の責任にされと思ったから 5. 相談したことが知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから 6. 自分にも悪いところがあると思ったから 7. 相談するほどのことではないと思ったから 8. 子どもや家族、他の人に危害が及ぶ、迷惑がかかると思ったから 9. 恐怖感があるから 10. その他	問28で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きます 問29 相談しなかったのは、なぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 誰に相談してよいのかわからなかったから 2. 人に知られたくないから 3. 相談しても無駄だと思ったから 4. 相談しても自分の責任にされと思ったから 5. 相談したことが知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから 6. 自分にも悪いところがあると思ったから 7. 相談するほどのことではないと思ったから 8. 子どもや家族、他の人に危害が及ぶ、迷惑がかかると思ったから 9. 恐怖感があるから 10. その他	
問37 配偶者や親しい異性（恋人等）からの暴力を防止し、解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 当事者同士がよく話し合い理解を深める 2. 暴力をふるわないよう家族で説得する 3. 友人・知人などに相談にのってもらう 4. 暴力は人権侵害・犯罪であることを相手に啓発する 5. 公的相談窓口の強化 6. 弁護士と連携した相談体制の充実 7. 身近な地域での相談窓口の整備 8. 電話やFAX、メール等による相談体制の充実 9. 警察など関係機関と連携した相談体制の充実 10. 緊急避難施設・一時保護施設の充実 11. 緊急避難時の生活支援・子どもの教育支援 12. 被害者支援のカウンセラーやサポーターの育成 13. DV・デートDVに関する教育の充実 14. DV防止に関する啓発の強化 15. DVを許さない地域や社会の雰囲気づくり 16. その他	問30 配偶者や親しい異性（恋人等）からの暴力を防止し、解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 当事者同士がよく話し合い理解を深める 2. 暴力をふるわないよう家族で説得する 3. 友人・知人などに相談にのってもらう 4. 暴力は人権侵害・犯罪であることを相手に啓発する 5. 公的相談窓口の強化 6. 弁護士と連携した相談体制の充実 7. 身近な地域での相談窓口の整備 8. 電話やFAX、メール等による相談体制の充実 9. 警察など関係機関と連携した相談体制の充実 10. 緊急避難施設・一時保護施設の充実 11. 緊急避難時の生活支援・子どもの教育支援 12. 被害者支援のカウンセラーやサポーターの育成 13. DV・デートDVに関する教育の充実 14. DV防止に関する啓発の強化 15. DVを許さない地域や社会の雰囲気づくり 16. その他	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問38 あなたは、職場や学校、その他の活動の場で次のような不快と感じる行為を受けたことがありますか。（いくつでも選んでください） 1. 年齢や容姿のことで傷つくようなことを言われる 2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされる 3. 結婚や交際についてしつこく聞かれる 4. 体をさわられた・卑猥な話を聞かされる 5. 交際や性的行為を強要される 6. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる（パワー・ハラスメント） 7. 妊娠・出産を理由に不当な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント） 8. しつこくつきまとわれる（ストーカー行為） 9. その他の不快な行為 10. 上記のような経験はない	問31 あなたは、職場や学校、その他の活動の場で次のような不快と感じる行為を受けたことがありますか。（いくつでも選んでください） 1. 年齢や容姿のことで傷つくようなことを言われる 2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされる 3. 結婚や交際についてしつこく聞かれる 4. 体をさわられた・卑猥な話を聞かされる 5. 交際や性的行為を強要される 6. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる（パワー・ハラスメント） 7. 妊娠・出産を理由に不当な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント） 8. しつこくつきまとわれる（ストーカー行為） 9. 上記のような経験はない	従来の選択肢以外の行為を選択肢に追加しました。
問39 性的マイノリティの方が暮らしやすい社会とは、どのような社会だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 性的マイノリティについての理解を深める教育プログラムを導入し、差別や偏見を減らすための啓発活動が行われている 2. 同性婚やパートナーシップ制度の導入、性的指向や性自認に基づく差別を禁止する法律が整備されている 3. 性的マイノリティが就業中に差別やハラスメントを受けないよう、職場での意識改革やポリシー策定がされている 4. 性的マイノリティ向けの適切な医療サービスとカウンセリングへのアクセスが良好である 5. 性的マイノリティが安心して相談できる場所やサポートネットワークが提供されている 6. その他（ ）		昨今、問題として取り上げられている性的マイノリティに関する意識を調査するため追加しました。
問40 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 避難所の設備（トイレ、更衣室、洗たく干し場等） 2. 避難所の設計・運営に男女がともに参画し、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること 3. 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート事業） 4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮 5. 被災者に対する相談体制 6. 防災に関する会議に男女がともに参画し、防災計画に多様な視点が入ること 7. 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に多様な視点が入ること 8. 自主防災組織等に男女がともに参画し、地域で行われる防災活動に多様な視点が入ること 9. 災害復旧・復興対策計画の策定に男女がともに参画し、計画に多様な視点が入ること 10. その他（ ）	問32 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何だと思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 避難所の設備（トイレ、更衣室、洗たく干し場等） 2. 避難所の設計・運営に男女がともに参画し、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること 3. 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート事業） 4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮 5. 被災者に対する相談体制 6. 防災に関する会議に男女がともに参画し、防災計画に多様な視点が入ること 7. 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に多様な視点が入ること 8. 自主防災組織等に男女がともに参画し、地域で行われる防災活動に多様な視点が入ること 9. 災害復旧・復興対策計画の策定に男女がともに参画し、計画に多様な視点が入ること 10. その他（ ）	
問41 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、あなたの現実にもっと近いものはどれですか。（1つ選んでください） ①現実にもっと近い ②希望にもっと近い × 1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭生活」を優先している 3. 「地域・個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭生活」を両立している 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立している 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべてを並立している	問33 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、あなたの現実にもっと近いもの、希望にもっと近いものはどれですか。（それぞれ1つ選んでください） ①現実にもっと近い ②希望にもっと近い × 1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭生活」を優先している 3. 「地域・個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭生活」を両立している 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立している 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべてを並立している	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問42 あなたは政治・地域・職場などにおいて、政策・方針決定の場へ参画したいと思いますか。（1つ選んでください） 1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない ※政策・方針決定の場への参画とは、議員や審議会委員、町内会（自治会）での役員、職場においては管理職などになることなどをイメージしてください。	問34 あなたは政治・地域・職場などにおいて、政策・方針決定の場へ参画したいと思いますか。（1つ選んでください） 1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない ※政策・方針決定の場への参画とは、議員や審議会委員、町内会（自治会）での役員、職場においては管理職などになることなどをイメージしてください。	
問43 あなたは、男女がともに仕事と生活の調和を図りながら、男女共同参画のまちづくりを推進するためには、どのような行政施策が必要であると思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 男女平等や男女共同参画に関する教育・啓発 2. 雇用における男女の格差是正の推進 3. 母性保護及び女性の健康対策 4. 保育サービスの充実 5. 障害のある人に対するサービスの充実 6. 学童保育の充実 7. 介護・看護サービスの充実 8. ボランティア活動に関する情報提供 9. 市民団体等と連携したまちづくり活動 10. 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する市民交流会の開催 11. 市民団体における女性リーダーの育成 12. 審議会委員などへの女性委員の積極的登用 13. 労働時間の見直しに関する啓発 14. 災害時における女性の視点を取り入れた防災（災害復興）体制の確立 15. その他	問36 あなたは、男女がともに仕事と生活の調和を図りながら、男女共同参画のまちづくりを推進するためには、どのような行政施策が必要であると思いますか。（いくつでも選んでください） 1. 男女平等や男女共同参画に関する教育・啓発 2. 雇用における男女の格差是正の推進 3. 母性保護及び女性の健康対策 4. 保育サービスの充実 5. 障害のある人に対するサービスの充実 6. 学童保育の充実 7. 介護・看護サービスの充実 8. ボランティア活動に関する情報提供 9. 市民団体等と連携したまちづくり活動 10. 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する市民交流会の開催 11. 市民団体における女性リーダーの育成 12. 審議会委員などへの女性委員の積極的登用 13. 労働時間の見直しに関する啓発 14. 災害時における女性の視点を取り入れた防災（災害復興）体制の確立 15. その他	
問44 最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書きください。	問37 最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書きください。	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
問1 貴事業所の主な業種をお答えください。（1つ選んでください） 1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売・飲食業 4. サービス業 5. 建設業 6. 教育・学習支援業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 水道・電気・熱供給業 10. 農林漁業 11. 医療・福祉 12. その他	問1 貴事業所の主な業種をお答えください。（1つ選んでください） 1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売・飲食業 4. サービス業 5. 建設業 6. 教育・学習支援業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 水道・電気・熱供給業 10. 農林漁業 11. 医療・福祉 12. その他	
問2 貴事業所の構成員についておたずねします。 ①正規従業員数 ②非正規従業員数 ③管理職数 ④障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める） ⑤令和6年度（2024年度）の新規採用者（正規）数 ⑥正規従業員の平均勤務年数（令和6年3月31日現在） × 1. 男性 2. 女性	問2 貴事業所の構成員についておたずねします。 ①正規従業員数 ②非正規従業員数 ③管理職数 ④障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める） ⑤令和元年度（2019年度）の新規採用者（正規）数 ⑥正規従業員の平均勤務年数（平成31年3月31日現在） × 1. 男性 2. 女性	時点修正のみ
問3 この調査票の記入者の役職をお答えください 1. 経営者・役員 2. 部長級 3. 課長級 4. その他	問3 この調査票の記入者の役職をお答えください 1. 経営者・役員 2. 部長級 3. 課長級 4. その他	
問4 貴事業所の経営者（代表者）の性別をお答えください。（1つ選んでください） 1. 男性 2. 女性 3. （ ） （「答えたくない」、「どちらでもない」など自由にお書きください）	問4 貴事業所の経営者（代表者）の性別をお答えください。（1つ選んでください） 1. 男性 2. 女性 3. （ ） （「答えたくない」、「どちらでもない」など自由にお書きください）	
問5 育児・介護休業の取得状況についておたずねします。 令和5年度の育児休業の取得率（年度内取得者／対象者） 令和5年度の介護休業の取得率（年度内取得者／対象者） × 1. 男性 2. 女性	問5 育児・介護休業の取得状況についておたずねします。 平成30年度の育児休業の取得者数 平成30年度の介護休業の取得者数 × 1. 男性 2. 女性	取得人数では、事業所規模だけで数値に差が生まれることから、取得率に変更しました。
問6 貴事業所では以下の対策を講じていますか。 従業員が行う育児を支援する対策 従業員が行う介護を支援する対策 × 1. はい 2. いいえ	問6 貴事業所では以下の対策を講じていますか。 従業員が行う介護を支援する対策 従業員が行う育児を支援する対策 × 1. はい 2. いいえ	この設問だけ「育児・介護」の順番が逆になっていたため、修正しました。

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
問7 貴事業所では次の①～④で、男女の取扱状況は均等になっていますか。 ①募集・採用において ②配置・昇任において ③同一労働における賃金において ④定年・退職の制度において × 1. 女性が優遇 2. どちらかと言えば女性が優遇 3. 男女で格差はない 4. どちらかと言えば男性が優遇 5. 男性が優遇		事業所内で性別による取組状況に差がないか確認するため追加しました。
問8 貴事業所では、5年前と比べて女性の雇用状況は変化していますか。 ①女性従業員数 ②女性管理職数 × 1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている	問7 貴事業所では、5年前と比べて女性の雇用状況は変化していますか。 ①女性従業員数 ②女性管理職数 × 1. 増えている 2. 変わらない 3. 減っている	
問9 貴事業所では、今後、女性の雇用をどのようにしたいと考えていますか。 ①女性従業員数 ②女性管理職数 × 1. 増やしたい 2. どちらともいえない 3. 減らしたい	問8 貴事業所では、今後、女性の雇用をどのようにしたいと考えていますか。 ①女性従業員数 ②女性管理職数 × 1. 増やしたい 2. どちらともいえない 3. 減らしたい	
問10 貴事業所において、女性を積極的に登用するために、次のような取組を行っていますか。 ①非正規従業員から正規従業員への転換制度 ②非正規従業員を管理職に登用する制度 ③性別にかかわらず客観的な人事考査のための基準の明確化 ④女性従業員の人材育成を目的とした研修実施と参加促進 ⑤女性従業員の積極的な採用 ⑥従業員の勤務時間や担当業務などに本人の希望を反映 ⑦従業員の資格取得や社会貢献活動を支援 ⑧従業員から職場環境の改善について意見要望を取り上げる ⑨従業員のメンタルヘルスに関するサポート ⑩管理職を対象に女性従業員活用のための指導や研修の実施 ⑪仕事上の相談にのり、業務のアドバイスをを行うなど先輩社員（メンター）がサポートする制度 ⑫女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定 × 1. すでに取り組んでいる 2. 今後数年のうちに取組を始める予定 3. 取組予定はない	問9 貴事業所において、女性を積極的に登用するために、次のような取組を行っていますか。 ①非正規従業員から正規従業員への転換制度 ②非正規従業員を管理職に登用する制度 ③性別にかかわらず客観的な人事考査のための基準の明確化 ④女性従業員の人材育成を目的とした研修実施と参加促進 ⑤女性従業員の積極的な採用 ⑥従業員の勤務時間や担当業務などに本人の希望を反映 ⑦従業員の資格取得や社会貢献活動を支援 ⑧従業員から職場環境の改善について意見要望を取り上げる ⑨従業員のメンタルヘルスに関するサポート ⑩管理職を対象に女性従業員活用のための指導や研修の実施 ⑪仕事上の相談にのり、業務のアドバイスをを行うなど先輩社員（メンター）がサポートする制度 ⑫女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定 × 1. すでに取り組んでいる 2. 今後数年のうちに取組を始める予定 3. 取組予定はない	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
問11 貴事業所では、次のような「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」に取り組んでいますか。 1. 求職者に向け、「女性が活躍できる職場であること」を積極的に広報している 2. 女性の採用を増やすために、採用方針・基準を設定・見直しを進めている 3. 採用時のコース別雇用管理区分の見直し・廃止に努めている 4. 女性従業員比率や役員・管理職への登用割合などの数値目標を設けている 5. これまで女性が少なかった職種や職務に積極的に女性を配置するようにしている 6. 公正な人事考課を行い、能力のある女性の昇任・昇格に努めている 7. 各種研修、教育機会への女性の参加を奨励している 8. 昇任・昇格試験の受験を女性に奨励している 9. 職業生活と家庭生活とを両立させ、長く勤められるように、制度の工夫など職場の環境づくりに努めている 10. 女性が働きやすい職場環境整備のための設備投資を進めている 11. 長時間労働対策のための組織的対応を進めている 12. 女性の提案や発言を求めるなど、女性の責任感や意識を向上させるために配慮している 13. 男女平等な職場環境となるよう、社内の意識改革を進めている 14. その他（ ） 15. どれも取り組んでいない	問10 貴事業所では、次のような「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」に取り組んでいますか。 1. 女性従業員比率の数値目標を設けるなど女性の採用が増えるよう努めている 2. これまで女性が少なかった職種や職務に積極的に女性を配置するようにしている 3. 公正な人事考課を行い、能力のある女性の昇任・昇格に努めている 4. 各種研修、教育機会への女性の参加を奨励している 5. 昇任・昇格試験の受験を女性に奨励している 6. 職業生活と家庭生活とを両立させ、長く勤められるように、制度の工夫など職場の環境づくりに努めている 7. 女性の提案や発言を求めるなど、女性の責任感や意識を向上させるために配慮している 8. 男女平等な職場環境となるよう、社内の意識改革を進めている 9. 女性の役員・管理職への登用について数値目標を定めている 10. その他 11. どれも取り組んでいない	多様な取り組みを確認するため、 選択肢を追加しました。
問12 女性を管理職に登用するうえで課題となるのは、どのようなことですか。（〇はいくつでも） 1. 女性の採用が少ない 2. 女性自身が管理職を望まない傾向がある 3. 出産、育児、介護等で離職する女性が多い 4. 残業や休日出勤、出張などができない女性が多い 5. 昇進・昇格要件となる経験や能力を備えた女性が少ない 6. 女性のほとんどが係長相当職になるまでに退職する 7. 管理職は仕事と家庭の両立が難しい 8. 体力的に女性が管理職を務めることは難しい 9. 取引先等から女性管理職が受け入れられにくい 10. 女性の就いている職種、部門が限定的である 11. 男性の部下が女性の管理職を好まない傾向がある 12. その他（ ） 13. 特に課題となることはない	問11 女性を管理職に登用するうえで課題となるのは、どのようなことですか。（〇はいくつでも） 1. 女性自身が管理職を望まない傾向がある 2. 出産、育児、介護等で離職する女性が多い 3. 残業や休日出勤、出張などができない女性が多い 4. 昇進・昇格要件となる経験や能力を備えた女性が少ない 5. 取引先等から女性管理職が受け入れられにくい 6. 女性の就いている職種、部門が限定的である 7. 男性の部下が女性の管理職を好まない傾向がある 8. その他 9. 特に課題となることはない	多様な取り組みを確認するため、 選択肢を追加しました。
問13 貴事業所では、職場におけるハラスメント※を防止するため、現在、取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも） 1. 倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる 2. ハラスメント防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している 3. ハラスメント防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている 4. ハラスメント防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている 5. ハラスメントの相談・苦情を受け付ける相談窓口を設置している 6. 相談窓口担当者の研修を実施している 7. 相談窓口担当者に女性をおいている 8. ハラスメントについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている 9. その他 10. どれも取り組んでいない	問12 貴事業所では、職場におけるハラスメント※を防止するため、現在、取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも） 1. 倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる 2. ハラスメント防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している 3. ハラスメント防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている 4. ハラスメント防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている 5. ハラスメントの相談・苦情を受け付ける相談窓口を設置している 6. 相談窓口担当者の研修を実施している 7. 相談窓口担当者に女性をおいている 8. ハラスメントについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている 9. その他 10. どれも取り組んでいない	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
問14 国や京都府が取り組む、次の企業認定・認証制度をご存知ですか。（○は①～③それぞれに1つ） ①（次世代育成支援対策推進法）「子育てサポート企業」として認定（くるみんマーク） ②（女性活躍推進法）女性の活躍推進に関する状況等が優良な事業主の認定（えるぼし認定） ③「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証ワーク・ライフ・バランスに取り組む方針を宣言し、認証基準を満たす従業員300人以下の府内事業所を京都府が認証 × 1. 取得済み 2. 知っている 3. 知らない	問13 国や京都府が取り組む、次の企業認定・認証制度をご存知ですか。（○は①～③それぞれに1つ） ①（次世代育成支援対策推進法）「子育てサポート企業」として認定（くるみんマーク） ②（女性活躍推進法）女性の活躍推進に関する状況等が優良な事業主の認定（えるぼし認定） ③「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証ワーク・ライフ・バランスに取り組む方針を宣言し、認証基準を満たす従業員300人以下の府内事業所を京都府が認証 × 1. 取得済み 2. 知っている 3. 知らない	
問15 （問14①②③のうち、1つでも「知っている」と答えた方に）貴事業所で取得しない理由は何ですか。（1つ選んでください） 1. 取得の方法がわからない（難しそうだ）から 2. 関心がないから 3. 取得してもメリットがないと思うから 4. 関心はあるが、忙しくて手が回らないから 5. 認定基準、認証基準を満たしていないから、満たすのが難しいから 6. 認定、認証の対象外だから 7. その他（ ）	問14 （問13①②③のうち、1つでも「知っている」と答えた方に）貴事業所で取得しない理由は何ですか。（1つ選んでください） 1. 取得の方法がわからない（難しそうだ）から 2. 関心がないから 3. 取得してもメリットがないと思うから 4. 関心はあるが、忙しくて手が回らないから 5. 認定基準、認証基準を満たしていないから、満たすのが難しいから 6. 認定、認証の対象外だから 7. その他（ ）	
問16 貴事業所では、男女従業員の仕事と育児・介護の両立支援に、次のような取組を行っていますか。 ①法定の期間を超える休業を付与する育児・介護休業制度 ②育児・介護休業中に給与の一部や手当を支給 ③育児・介護サービス利用料の援助 ④家族のための休暇（学校行事の休暇など）の付与制度 ⑤配偶者出産休暇制度 ⑥事業所内託児所を設置 ⑦休業中の情報提供など、職場復帰をしやすい配慮 ⑧子育て・介護を理由に退職した従業員の再雇用制度 ⑨男性の育児休業・介護休業の取得の促進 ⑩短時間勤務やフレックスタイムなど弾力的な勤務形態 ⑪計画的な残業禁止日（ノー残業デー等）を設定 ⑫残業の事前承認による残業時間の削減の推進 ⑬時間単位の有給休暇の付与制度 ⑭有給休暇の計画的取得、時季指定の取得の推進 ⑮複数担当制など他の人が仕事を代替できる体制 ⑯次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定 × 1. すでに取り組んでいる 2. 今後数年のうちに取組を始める予定 3. 取組予定はない	問15 貴事業所では、男女従業員の仕事と育児・介護の両立支援に、次のような取組を行っていますか。 ①法定以上の期間の休業を付与する育児・介護休業制度 ②育児・介護休業中に給与の一部や手当を支給 ③育児・介護サービス利用料の援助 ④家族のための休暇（学校行事の休暇など）の付与制度 ⑤配偶者出産休暇制度 ⑥事業所内託児所を設置 ⑦休業中の情報提供など、職場復帰をしやすい配慮 ⑧子育て・介護を理由に退職した従業員の再雇用制度 ⑨男性の育児休業・介護休業の取得の促進 ⑩短時間勤務やフレックスタイムなど弾力的な勤務形態 ⑪計画的な残業禁止日（ノー残業デー等）を設定 ⑫残業の事前承認による残業時間の削減の推進 ⑬半日又は時間単位の有給休暇の付与制度 ⑭有給休暇の計画的取得、時季指定の取得の推進 ⑮複数担当制など他の人が仕事を代替できる体制 ⑯次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定 × 1. すでに取り組んでいる 2. 今後数年のうちに取組を始める予定 3. 取組予定はない	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
問17 ワーク・ライフ・バランスへの取組の実施の効果は何ですか。（〇はいくつでも） 1. 女性活躍に向けた社内の意思統一ができた 2. 職場が活性化した 3. 残業削減がすすんだ 4. 仕事の進め方が効率的になった 5. 離職者が減った 6. 採用で人材が集まるようになった 7. 男性から不満が出た 8. 女性に対する偏見が強まった 9. 取組が経営の負担になった口 10. 行動計画に定めた目標が実現困難なものだった 11. 取組には予算が必要な事項が多かった 12. 男性のモチベーションが低下した 13. 女性に業務が集中し女性への負担が増大した 14. その他（ ）		
問18 仕事と育児や介護の両立支援を進めることにより、事業所としてどのような効果が期待できると思いますか。（〇はいくつでも） 1. 優秀な人材を採用できる 2. 中途退職する従業員が減少する 3. 人件費コスト・募集コストを軽減できる 4. 地域社会への貢献度が高い企業、先駆的な企業など企業イメージ向上につなげることができる 5. 従業員の意欲が高まり、生産性の向上につながる 6. チームや組織で助け合う雰囲気醸成される 7. 従業員全体の業務効率化に向けての意識改革を図ることができる 8. 組織・業務体制の見直しにより、業務効率が向上する 9. 多様な価値観や生活者の視点・消費者の視点を本業に活かすことができる 10. その他	問16 仕事と育児や介護の両立支援を進めることにより、事業所としてどのような効果が期待できると思いますか。（〇はいくつでも） 1. 優秀な人材を採用できる 2. 中途退職する従業員が減少する 3. 人件費コスト・募集コストを軽減できる 4. 地域社会への貢献度が高い企業、先駆的な企業など企業イメージ向上につなげることができる 5. 従業員の意欲が高まり、生産性の向上につながる 6. チームや組織で助け合う雰囲気醸成される 7. 従業員全体の業務効率化に向けての意識改革を図ることができる 8. 組織・業務体制の見直しにより、業務効率が向上する 9. 多様な価値観や生活者の視点・消費者の視点を本業に活かすことができる 10. その他	
問19 貴事業所において、仕事と育児や介護の両立支援を推進しようとする場合、どのような問題があると思いますか。（〇はいくつでも） 1. 日常的に労働時間が長い部門・事業所がある 2. 全体的に休暇取得率が低い 3. 育児休業や介護休業をとりづらい雰囲気がある 4. 育児休業や介護休業などによる代替要員の確保が難しい 5. 業務の効率や質が落ちる 6. 育児・介護支援に関する管理職の認識が不足している 7. 育児・介護両立支援制度の導入には、コストの増加が伴う 8. 情報やノウハウ不足により制度の運用が難しい 9. 育児・介護両立支援の効果が、事業所として数値で実感しにくい 10. 公的及び民間の保育・介護サービスが不足している 11. 社会通念上、男性が育児・介護に参加しにくい 12. 休業することで収入などの面で不安があるため、従業員が利用を望まない 13. その他 14. 特に問題となることはない	問17 貴事業所において、仕事と育児や介護の両立支援を推進しようとする場合、どのような問題があると思いますか。（〇はいくつでも） 1. 日常的に労働時間が長い部門・事業所がある 2. 全体的に休暇取得率が低い 3. 育児休業や介護休業をとりづらい雰囲気がある 4. 育児休業や介護休業などによる代替要員の確保が難しい 5. 業務の効率や質が落ちる 6. 育児・介護支援に関する管理職の認識が不足している 7. 育児・介護両立支援制度の導入には、コストの増加が伴う 8. 情報やノウハウ不足により制度の運用が難しい 9. 育児・介護両立支援の効果が、事業所として数値で実感しにくい 10. 公的及び民間の保育・介護サービスが不足している 11. 社会通念上、男性が育児・介護に参加しにくい 12. 休業することで収入などの面で不安があるため、従業員が利用を望まない 13. その他 14. 特に問題となることはない	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
問20 今後、事業の男女共同参画を進めるにあたり、行政に対してどのようなことを望まれますか。（〇はいくつでも） 1．広報誌やパンフレットなどで、事業所の男女共同参画について啓発を行う 2．男女共同参画の推進や女性の能力開発のための講座やセミナーを開催する 3．事業所が行う研修会などに、講師の派遣や紹介など協力する 4．結婚や出産、育児退職後の再就職及び能力開発の機会をつくる 5．男女共同参画に関して、事業所や労働者のための相談機能の充実を図る 6．男女平等に向けた雇用・労働条件確保のために、指導的役割の強化を図る 7．その他 8．特に何もない	問18 今後、事業の男女共同参画を進めるにあたり、行政に対してどのようなことを望まれますか。（〇はいくつでも） 1．広報誌やパンフレットなどで、事業所の男女共同参画について啓発を行う 2．男女共同参画の推進や女性の能力開発のための講座やセミナーを開催する 3．事業所が行う研修会などに、講師の派遣や紹介など協力する 4．結婚や出産、育児退職後の再就職及び能力開発の機会をつくる 5．男女共同参画に関して、事業所や労働者のための相談機能の充実を図る 6．男女平等に向けた雇用・労働条件確保のために、指導的役割の強化を図る 7．その他 8．特に何もない	
◆ 最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書き下さい。	◆ 最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書き下さい。	